

・三位一体後第十五主日

泉のほとり

塙の柱になつた

今月の詩編 第十五編

あなたに望みをおき、

無垢でまっすぐなら

そのことがわたしを

守ってくれるでしょう。



神さまに背き続けているソドムに裁きを下すため造わされた一人の御遣いが町へ入ってきたとき、ロトは町の門の近くに座つていました。

外敵の攻撃から町を守るために、パレスチナでは町は必ず城壁で囲まれます。そこに門が設けられ、人々は朝、門から出て農作業や商売をし、夕方帰つて来ます。門は夜には閉じられます。門の近くでは市場が開かれ、また裁判も門のところで行われました。町にとつて重要な場所です。そこに座つていたことから、ロト

が町でも重要な働きをしていたことが考えられます。御使いが町に入つて来たとき、ロトは彼らを家に迎え入れようとします。当時は旅人をもてなすことは責めません。

しかしある市民の義務と考えられていました。でもこのときロトはひれ伏して彼らを迎えていましたから、この二人が特別な人たちであることを感じ取つていたかも知れません。

しかし邪悪な町の人たちは、夜ロトの家を襲います。

旅人をなぶり者にしようとしたのです。ロトがそれを止めようとしていますが、彼らはロトに襲いかかります。

「こいつは、よそ者のくせに、指図などして」と言つてゐることから、ロトが普段から人々を指導しようとしてことも見て取ることができます。

ソドムの町に一人の正しい人がいたら町を赦そうと言われた神さまですが、その十人がいないことが明らかになつたので、御使いは町が滅ぼされることをロトに告げ、家族を集めて、町から逃れるように言います。

しかしすでに結婚している娘の婿はロトの話を冗談だと思つて信じません。しかもロトは逃げるのをためらいます。それで二人の御使いが、ロトと妻と、家に残つていた二人の娘の手を引いて、町から逃れさせようとします。まるで親が子どもの手を引いて逃げるようです。

さらに神さまが山へ逃げるよう命じられたのに、ロトはそれをも拒んで、近くの小さな町であつたツオアルに逃げると主張します。そして彼らがツオアルに着いたときに、空から火と硫黄が降つてきて、ソドムとゴモラの町は滅ばされてしまつたのです。

ロトは破滅のただ中から救われました。しかしそれはロト自身の功績ではありません。神さまはアブラハムを御心に留めてくださいつたので、彼は救われたのです。ロトのようく見え切らない、中途半端な信仰者であるわたしたちも、神さまが主イエスを御心に留めてくださるので、滅びから救われるのです。

でもそのとき、決して後ろを振り向いてはならないという神さまのみ言葉に背いて後ろを見たロトの妻は、塙の柱になつてしましました。神さまは中途半端な信仰者をも救つてくださいますが、それはみ言葉を無視してもよいということではありません。たとえ不完全な者であつても、わたしたちは力を尽くして、み言葉に従わなければならぬのです。

2023年度

教 会 全 体 課 題

『詩篇119篇を読む』

○次回の洗礼式と転入会式は十二月二十四日、クリスマス礼拝です。受洗・転入会をご希望の方は願書をお書きになり、牧師宛て提出ください。願書は教会事務所にあります。

日々聖書に聴き、

御言葉に従つて歩む。

教会協同訳（アレフ 1～3節）

○第一礼拝後、一二時四五分より、定例役員会を地下ホールで行います。役員の方はご出席ください。

幸いな者、完全な道を行き
主の律法を歩む人は、

幸いな者、主の定めに従う人

心を尽くして主を尋ね求める人は、

彼らは不正も働く

主の道を歩む。

四あなたは命じられました

あなたの諭しを固く守るよう、と。

私の道が確かでありますように。

あなたの大いなるために。

六そうすれば、あなたのどの戒めに口を留めても

恥じ入ることはありません。

七あなたの正しい戒ぎを学びながら

まつすぐな心であなたに感謝し

八あなたの徳を守ります。

《ぶどうの会より》

○第一礼拝後にぶどうの会を行います。第二礼拝の前までです。場所はカナンルームで行います。

（ペテロの手紙一 2章2節）

《今後の予定》

○九月二二日（土）附属幼稚園運動会（二五日休園）
○十月一日（日）信仰者たちに学ぶ会

今日の讃美歌 現代語訳

讃美歌 275番

1. 強い神の御子 カ无私の愛よ

私達はあなたを見る事はできなくとも
日で見るよりも、もつとはつきりと

ただ信仰によつて、あなたを仰ぎ見ます

2. あなたこそ清い神の御姿です

このうえなく高貴な人の子です
私達が意志を授かつたのは

あなたにふたたび返すためです

3. 知識は移ろい廻れるが
信仰こそは永遠です

人の知識は、あなたが照らす光を
わずかに映すひらめきにすぎません

4. 知識が増していくと
それにまさつて敬う心が深まつていき
心と魂とがひとつになる
妙なる調べを奏でましょう

今日の聖書クイズ

(問) ヤコブは、おじラバンの家で何年間働いたでしょう。

D	C	B	A
7年	6年		
14年			
20年			

(答) 創世記3章4節を御覧ください。

今日の子ども礼拝



説教 「イサクをささげた」
聖書 創世記22章1～13節
説教者 宮間彰広兄

次週の礼拝

● 子ども礼拝 平前9時20分・地下ホール

説教 「祈りに答えてくださる神」
聖書 創世記24章11～21節

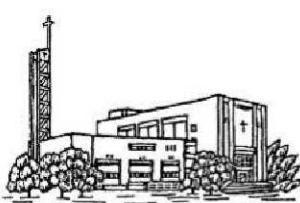
説教者 吉村和雄 名誉牧師

● 第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 22番 讀21～57番
説教 「約束を受け継いだイサク」
聖書 創世記26章12～24節
説教者 宮間彰広兄

● 第二礼拝 (午前11時)

讃美歌 54番 304番
説教 「同日のしるし」
聖書 ヨハネ4章43～54節
説教者 黄允湜牧師



第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 22番 讃美歌21 57番
説教 「主の山に備えあり」
聖書 創世記22章1~19節(旧約P31)
司式 山下純一兄
聖餐司式 黄允湜牧師
説教者 菊池美穂子副牧師

第二礼拝 (午前11時)

讃美歌 53番 275番
説教 「わたしの食べ物とは」
聖書 ヨハネ4章27~42節(新約P170)
司式 山下純一兄
聖餐司式 黄允湜牧師
説教者 黄允湜牧師

前奏曲「今日の空が光を満たすとき」D.カット

○讃美歌22番

1.めさめよ、わがたま あさ日にともない
あしたのほめうた みまえにさきげよ
2.むなしくすごしし ときをばつぐのい
ちからのかぎりに みわざをつとめよ
3.うえよりたまわる たからをもちいて
おわりのさばきに かしこみそなえよ
4.かくるるもののも 主は知りたまえば
ことばとおもいを ひたすらきよめよ
5.めさめよ、わがたま この日もひねもす
みくにをのぞみて いそしみはげめや

アーメン

○讃美歌21 57番

1.ガリラヤの風かおる丘で ひとびとに話された
恵みのみことばを わたしにも聞かせてください。
2.あらしの山波たける湖で 弟子たちにさとされた
ちからのみことばを わたしにも聞かせてください。
3.ゴルゴダの十字架の上で つみびとを招かれた
すくいのみことばを わたしにも聞かせてください。
4.夕ぐれのエマオへの道で 弟子たちに告げられた
いのちのみことばを わたしにも聞かせてください。

アーメン

聖餐曲「苦しみを受けたもうキリストに栄光あれ」

J.S.バッハ

後奏曲「教会ソナタ ハ長調」W.A.モーツарт

前奏曲「これぞ聖なる十戒」J.S.バッハ

○讃美歌53番

○聖歌隊による讃美
「我 山に向いて」 W.スティーガン作曲
我 山に向ひ目を上ぐ
我が助けは 何処 (いづこ) より来たる
我が助けは 天地 (あめつち) の主より来たる
主は汝の足を守り
主はまどろみ給うことなし
見よ イスラエルを守る者は
眠り給うことなし
主は汝を守り その右手を覆う陰なり
昼は日 汝を撃たず
夜は月 汝を撃たじ
主は災いより守り
主は今より永久 (とこしえ) に至るまで
汝の山 (いづ) ると入 (い) るとを守らせ給う
我 山に向ひ日を上ぐ
我が助けは み神より来たる

○讃美歌275番

聖餐曲「苦しみを受けたもうキリストに栄光あれ」

J.S.バッハ

後奏曲「教会ソナタ ハ長調」W.A.モーツарт

*礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。